



01

「ももたといぬっち」

ももたは ゲームが だいすき!

きょうも こうえんで

たのしそうにゲームを していました。

すると あしもの

ダンボールはこの なかから…

「クヒイーン クンッ クンッ」

「あれ なんだろう?」

ももたが ダンボールはこの

なかを のぞくと……

紙芝居「ももたといぬっち」

この紙芝居は、消費者庁の先駆的事業として岡山県が「幼小中高生向け消費者教育プログラム開発事業」の一つとして制作したものです。この開発事業は平成27年度から始まり、3年度分まで幼小中高生向け消費者教育教材を完成させるものです。

紙芝居「ももたといぬっち」は、1年間に作成した紙芝居「ももたのおかいもの」に続けて平成28年度に作成したもので、最終の段階であり、今後イデア授業を重ね完成品となる予定です。

なお、開発事業は「消費者教育教材作成研究会」に意見を求めるなどして進めています。

消費者教育教材作成研究会委員 (50名順)

- 吉本 博子(岡山県国公立幼稚園・こども課長 会長)
- 大森 秀臣(岡山大学法学部 教授)
- 桑原 敏典(岡山大学教育学部 教授)
- 中富 公一(岡山大学法学部 教授)
- 中村 英(岡山大学法学部 教授)
- 福地 達太(岡山県金融広報委員会 会長)
- 前田 芳男(岡山大学地域総合研究センター 副センター長 准教授)
- 森 雅子(ノートルダム清心学院 清心中学校・清心女子高等学校 副校長)
- (岡山県) 教育委員会指導課 課長
- 消費生活センター 所長
- (岡山県) 教育庁生涯教育課 課長
- 教育庁生涯教育課 課長
- 県民生活部くらし安全安心課 課長
- 消費生活センター 所長
- 消費生活センター 消費者教育コーディネーター

監修

矢次 谷江(岡山県消費者教育コーディネーター)

デザイン・イラスト制作

中田和美

事業委託団体

公益社団法人 全国消費生活相談員協会

発行 岡山県

岡山県消費生活センター 岡山県県民生活部くらし安全安心課
 〒700-0807 岡山市北区方2-13-1 〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6
 TEL(086)226-1019 FAX(086)227-3715 TEL(086)226-7346 FAX(086)225-9151
 平成28年3月

ゆっくらと
引き抜く



02

こいぬが いっぴき ぶるえていました。

〈だれか このいぬを そだててください〉

こんな おてがみが はいっています。

ももたは びっくりして

いそいで こいぬを つれてかえりました。

(ももた) 「たいへんだら みんなさ

いぬが こうえんに すてられていたよ」

みんなに
知らせるために
大きな声で



03

おうちのひとは こまったかおを しています。

こいぬは クヒィンクヒィンと

ももたに からだを すりよせてきました。

(ももた) 「かわいいなあ」

ももたは このこいぬを かいたくてかいたくて
たまらなくなりました。

(ももた) 「ぼくが ちゃんと おさんぽにいらっ

えさもあげるから かつてもいい？」

(おとうさん)「いぬのおせわは たいへんだよ？」

ゲームが できなくなっても いいの？」

(ももた) 「うん ちゃんと おせわするから！」

なんども おねがいして

かうことを ゆるしてもらいました。

ももたは このいぬを いぬっちと なづけました。



04

〈ギロギロギロ〉

〈トントントン〉

ももたは かぞくといっしょに

いぬっちのおうちを つくりました。

(ももた)「いぬっちのおうちの できあがり！」

いぬっち こころがきみの おうちだよ

いぬっちは ももたから えさをもらい

おしっこや うんちのせわも

きちんとしてもらって

すくすくと おおきくなりました。

おさんほにも まいにち いっしょに でかけます。

(ももた)「いぬっち きみはぼくの

おとうとみたい」

拍子をつけて
読む

「いっしょ
めくくりと読む

「おとうとみたい」
を強調して読む



05

あるひ うらちゃんが あそびにきました。

(うら) 「ももたくん いぬかっているの？」

わらわ かわいいー！」

うらちゃんは まいにちまいにち

いぬっちに あいにくるようになりました。

いぬっちを なでてあげたり

ほおずりを しているうちに

うらちゃんは いぬっちが ほしくなりました

(うら) 「このまま つれてかえりたーい！」

このいぬ わたしにちょうだい」

(ももた) 「ダメだよ。あげられないよ。」

いぬっちは ボクの

おとうとなんだから」

うらちゃんは しびしび かえりました。



06

うらちゃんは いえにかえり

(うら) 「そうだ わたしのゲームと

とりかえっこしてもらおう！

きーめた！」

めをかがやかせます。

おとうさんに おねがいました。

(うら) 「もっすべらぬっさが やってへんぬ。の。

いぬっちのために

すてきなおうちが ほしいわ

(おとうさん) 「おしおし わかったぞ」

うらちゃんは とてもごうかな いぬごやを
かっでもらいました。

うらちゃん……



07

うらちゃんが ももたのいえに やってきました。
りょうてに いっぱい ゲームを もっています。

(うら) 「ももたくん ゲームが ほしいって
いってたよね？」

このゲーム ぜんぶと
いぬっち かえっこして!!」

ももたが まえから ほしかった
ゲームが いっぱいです。
ももたの きもちが ゆれました。

(ももた)「うん、うん」

しばらく かんがえたあと とつとつ……



08

(ももた)「うらちちゃんが

かわいがってくれるのなら いいよ」

ももたは いぬっちを うらちゃんにわたし

かわりに ゲームを うけとりました。

(ももた)「だいじに してあげてね」

(うらち)「うん」

うらちゃんは よろこんで

いぬっちを つれてかえりました。



09

うらちゃんはいえには

ごうかな いぬごやが ありました。

えさも ごちそうです。

でも いぬっちは えさをたべません。

ふかふかの おふとんにも ねむりません。

さびしそうに「クォーン、クォーン」

と なくばかりです。

うらちゃんは こまってしまいました。



10

ももたも げんきが ありません。
だいすきだった ゲームをしても
たのしくありません。

(ももた) 「いぬっちは……」

よんでも いぬっちは もういません。

色々と
思い出せばあつた
ゆっくり、ゆっくり
読む

「いぬっちは」
を寂しげうに読む



11

ももたは ゲームを ほうりなげて
さけんでいました。

(ももた)「ゲームなんかいらない！
いぬっちと いっしょのぼうが
ずっとずっと よかった！」

ももたは ゲームをもって
うらちゃんのにえに はしっていきました。

(ももた)「いぬっち~~~~!!」

大きな声で
「いぬっち」を呼ぶ



12

いぬっちは ももたのこえをきいて
しっぽをふって とびだしました。

(ももた) 「いぬっち さみしかったよ」

ももたは いぬっちを だきしめました。

いぬっちは とっても あたたかでした。

うらちゃんも あわてて

いえから でてきました。

「あたたかでした」
を強調して読む



13

うらちゃんは うれしそうな いぬっちをみて
いました。

(うら) 「だいごつぷつのえさまも たべないし

いぬごやにも はいらないの」

ももたは

(ももた) 「ゲームを かえすから

いぬっちを かえしてくれる？」

と うらちゃんに おねがいしました。

ももたと いぬっちをみて

うらちゃんは いました。

(うら) 「いぬっちは やっぱり

ももたくんの おうちがいいのね…」

も困ったように読む

を寂しそうに読む



14

いぬっちは やっぱり

ももたの たいせつなかぞく。

解説

私たちは、様々な人とかかわりをもって社会生活をしています。
社会生活を営む上で、「責任」とは何かを考えることは大切です。

この紙芝居を通して、こどもたちと一緒に自発的な活動や遊び、生活の中から

- ・家族を大切にしようとする気持ち
- ・自分が役に立つ喜び
- ・自然とのかかわりや命の大切さ

を考え、いたわり大切にする気持ちが育つこと。

友だちなど色々な人とかかわりの中で、

自分が判断したり、その判断を考え直すことを通して

新しい考えが生み出され、「責任」ある行動になることなどを

話し合ってみてください。